

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちは、動物たちのなかにも「ことば」をもっているものがいて、生きていくために必要なことを、おたがいに伝えあっているらしいということを見ました。でも、このような動物たちの「ことば」は、私たち人間の「ことば」と同じものでしょうか。

動物たちの「ことば」と私たち人間の「ことば」との間には、たいせつな違^{ちが}う点がいくつかあります。たとえば、アリやミツバチは、どのようにして「ことば」を身につけるのでしょうか。お母さんのアリが子どものアリに向かって、えさを見つけたときにはこうするのですよ、と教えているというのは、考えてみただけでもほんとうにほほえましいコウケイです。でも、じつさいには、アリのお母さんはそんなことをする必要はないのです。アリであれば、えさを見つけると、足の先から匂いのするものがしぜんに出てくるというふうに、生まれつき仕組まれているのです。ミツバチの場合も、お母さんが子どもの手足をとって、ダンスの仕方を教えてやるというわけではありません。

人間の「ことば」は、こういうふうにはいきません。私たちが日ごろ使っている日本語ですと、まるで生まれつき身につけていた 思えるかもしれませんが、（ 1 ）、どうい場合に「アニ」といって「オトウト」とはいわないのか、などということは、みんな私たち自身が他の人から教えられたり、あるいは、他の人が使っているのを見たり聞いたりして学び知ったのか、どちらかです。 ^A ひとりでに使えるようになったというわけではありません。 ⁽¹⁾ このことは、外国語を身につける場合を考えてみれば、もつとはつきりするでしょう。

② 動物たちは「ことば」のベンキョウをしなくてすむからいいな、などと思っではいけません。動物たちは、たしかに人間の 、
③ ドリヨクして「ことば」を学ばなければならないというようなことはありません。（ 2 ）、その代わり、動物たちは、いつも、

そしていつまでたっても、同じことしか伝えることができないのです。

それからもうひとつ、動物の「ことば」は、いま、ここにあることがらを伝えることはできるでしょうが、「いま」と「ここ」を越えたもつと広い世界のことがらを伝えることはできないでしょう。たとえば、アリたちは、アリの「ことば」で、三日前に見つけたケーキがとても甘かったこと、明日はきつとおいしいものを見つけるぞ、などといった気持ちを伝えることができるでしょうか。

動物の「ことば」の仕組みは、生まれつき身にソナワッテ^④いますが、その代わり、動物たちには、もともと生まれつき定められたことしか、表したり、伝えたりすることができないのです。動物の「ことば」は、動物たちをせまい世界の中に閉じこめています。

私たち人間の世界は、このように閉じたものではありません。人間の「ことば」は、「ここ」「いま」のことがらはるかに越えて、^⑤カコ^⑥のことも、未来のことも、そしてじつさいにはありえないソウゾウ^B上^⑥のことであつても、表し、伝えることができます。人間は「ことば」を学ばなければならない代わりに、学べば学ぶほど、新しい言いまわし^Bを身につければつけるほど、世界が広くなつていきます。(3)、さらにすすんで、もし新しい外国語を身につけたとしたら、私たちの世界はどれほど広くなることでしょう。私たちのほうでその気になれば、人間の「ことば」は私たちをいくらでも広い世界へと連れていってくれます。

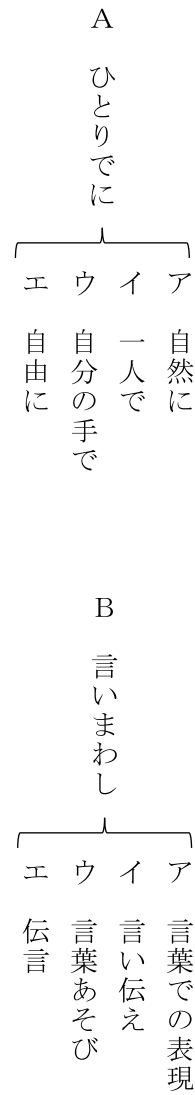
私たちがなんの気なしに使っている「ことば」——その「ことば」は、私たちにとってほんとうに、深い深いかわりをもっているのです。

(池上嘉彦「ふしぎなことば ことばのふしぎ」より)

問一 〓線①～⑥のカタカナを漢字に直しなさい。④は送り仮名も答えなさい。

問二 () 1～3にあてはまる言葉を次から選んで記号で答えなさい。
ア しかし イ だから ウ そして エ また オ たとえば

問三 〓線A、Bの語句の意味を次から選んで記号で答えなさい。



問四 に共通して入るひらがな三字を答えなさい。

問五 次の一文は本文のどこに入りますか。直前の八字を抜き出しなさい。(句読点も字数に数えます)
とてもできないことです。

問六 〓線(1)「このこと」とはどのようなことですか。次から選んで記号で答えなさい。
ア 人間の「ことば」は、他の人から教えられたりして身につけること
イ 人間やアリの「ことば」は、生まれつき身につけていること
ウ ミツバチのお母さんが、子どもの手足をとってダンスの仕方を教えてやること
エ 「アニ」というのか「オトウト」というのか、生まれつき身につけていること

問七 ――線(2)「このように閉じたもの」とありますが、それはどのようなことを指していますか。解答用紙の「もの」に続くように、

文中から四〇字以内で探し、始めと終わりの五字を答えなさい。

問八 この文章で述べていることと合わないものを次から選んで記号で答えなさい。

ア 一部の動物がもっている「ことば」は、同じことを伝えるための「ことば」である。

イ 私たちの「ことば」は、人間を広い世界へと連れていってくれる。

ウ 人間だけではなく動物も、親から子どもへ言葉を教えている。

エ 動物の「ことば」は、学ばなければならないものではない。

【二】 次の詩と鑑賞文を読んで、後の問いに答えなさい。

夕焼け

あしたは かならず

晴れるに ちがいないなあ

あしたも わたしは

たしかに 生きるだろうなあ

あしたこそ

なにかを みるかなあ

きつと そう⁽¹⁾であり

そう⁽²⁾に ちがはなく

そう⁽³⁾と 思いたい

………

そんなふう^{なが}に眺められる

夕焼けが あった

太陽がしずみゆく夕焼けの時。ゆつくりと夜へイコウしてゆくこの一時、どこか心もとないような 1 を感じたことは、
誰だれでもあるのではないでしょうか。しかしこの詩には、去りゆく太陽を見つめながらも、これから迎むかえる「あした」への、せつないほどのキタイ感があります。^②

まだ見ぬ「 2 」にこそ、今まで見たこともない「 3 」に出会えるかもしれない。「きっと そうであり／そうに
ちががなく／そうと 思いたい」というひたむきなことば。オサナカッタころ、まだ見ぬ明日がどんな日になるのか、
しながら眠ねむりについたことを思いだします。 4

私たちは、おとなになるにつれ、新しい日を迎えるという新鮮せんさを、つい忘れてしまいがちです。しかし、一日のうちにたった
一度であつても、この詩のように、深く記憶おくにきざみつけられる瞬間しゅんがあつたら、どうでしょう？ それは朝の食卓たくについた時か
もしれませんし、トウコウの道すがら、あるいは、両親や友だちとの何気ない会話の中かもしれない一瞬を、
時にはじっくりと、心から味わうということ。^④

日常を単調なくしかえしとするかしないか、そのわかれ目めというものを、この詩は教えてくれるように思うのです。^⑤

（萩原昌好編「日本語を味わう名詩入門 工藤直子」より）

問一 〓線①ゝ⑤のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。③は送り仮名も答えなさい。

問二

1

に入る言葉を次から選んで記号で答えなさい。

ア うれしさ イ くるしさ ウ さびしさ エ たのしさ

問三

2

と

3

に入る言葉を、それぞれ詩の中から抜き出しなさい。

問四

4

に入る言葉を次から選んで記号で答えなさい。

ア きらきら イ へらへら ウ めそめそ エ わくわく

問五 詩の中の――線(1)ゝ(3)の「そう」について、それぞれ何を指しているか、次から選び記号で答えなさい。

ア 明日こそ何かをみる
イ 明日こそ夕焼けを見られる
ウ 明日こそしっかりと眠ることができる
エ 明日はかならず晴れる
オ 明日も私は生きている

問六 〓線(4)「去りゆく太陽」と同じ意味になるように、鑑賞文中から言葉を抜き出し、「太陽」に続くように答えなさい。

問七 〓線(5)「そのわかれ目」とは何を指していますか。鑑賞文中から二〇字以内で抜き出しなさい。

【三】 次の(1)～(6)の「」に入る、体に関する漢字一字を答えなさい。

- | | | | | | |
|-------------------|-------------|---------------|-------------|------------|--------|
| (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| 「 | 「 | 「 | 「 | 「 | 「 |
| 」 | 」 | 」 | 」 | 」 | 」 |
| が立たない | を長くする | を探る | が回る | を切る | が出る |
| ： | ： | …… | …… | …… | …… |
| 相手が強く、とてもかなわないこと。 | 心待ちにしている様子。 | 人の心の中をうかがうこと。 | 非常にいそがしいこと。 | 最初に発言すること。 | 赤字になる。 |

【四】 例のように、漢字を三つずつ組み合わせてできる漢字を、四つ答えなさい。

(例) 立 + 木 + 見 ↓ 親

糸	木	立
口	竹	心
言	目	角
五	日	刀
水	牛	白

【五】 線部はどこにかかっていますか。記号で答えなさい。

(1) 今 日 は た ぶ ん 夕 方 か ら 雪 が 降 る だ ろ う 。

(2) 彼 は 今 日 も う すぐ 車 で この 場 所 ま で 来 る だ ろ う 。

(3) こ の 時 間 な ら お そ ら く 集 合 に は 間 に 合 わ な い 。

(4) わ が 家 の 今 日 の お か ず は カ レ ー と サ ラ ダ で し た 。

(5) 集 合 時 間 に 合 わ せ て み ん な で 彼 女 を む か え に 行 く 。

(6) 彼 は ブ ラ ン コ で 遊 び 、 彼 の 妹 は す べ り 台 で 遊 ん で い た 。

国語解答

小計 37 点

【二】

2点×6		問一	
⑤	過去	カコ	光景
		コウケイ	
⑥	想像	ソウゾウ	勉強
		ベンキョウ	
③	努力	ドリョク	
④	備わって		ソナワッテ

2点×3	
問二	
1	
オ	
2	
ア	
3	
ウ	

2点×2		問三	
A	ア	B	ア

2点		問四	
ように			

3点		問五	
き	る	で	し
よ	う	か	。

3点		問六	
ア			

4点	問七	も	と	も	と	生	ゝ	が	で	き	な	い	もの
----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

3点		問八	
ウ			

小計 31 点

【三】

2点×5		問一	
⑤	なにげない	①	イコウ 移行
		②	期待 キタイ
		③	幼かった オサナカッタ
		④	登校 トウコウ

2点		問二	
ウ			

2点×2		問三	
2	あした	3	なにか

2点		問四	
エ			

2点×3		問五	
(1)	エ	(2)	オ
(3)	ア		

3点		問六	
しずみゆく		太陽	

4点	
問七	
日	常
を	を
単	を
調	を
な	を
く	を
り	を
か	を
え	を
し	を
と	を
す	を
る	を

小計 12 点

【三】

2点×6	
(1)	
足	
	(2)
口	
	(3)
目	
	(4)
腹	
	(5)
首	
	(6)
齒	

小計 8 点

【四】

2点×4		意	
解	語	線	

箱 ※五文字のうち四文字解答

小計 12 点

【五】

点×6	
(1)	エ
(2)	オ
(3)	エ
(4)	イ
(5)	オ
(6)	エ